

広報やまと

2011(H23)
11
No.80
霜月
10月26日発行

背負って走るは愛の重さ？

10月2日にそよ風パーク芝生広場で開催された町民スポーツ大会。雨となった昨年の大会の分まで、今年は各競技で熱戦が繰り広げられました。パートナーを背負って走る夫婦運びリレーでは、大きな声援を受けながら、選手が必死の走りを見せました。(8ページに関連記事)



Contents 主な内容

4～6P	22年度決算	12～13P	まちの話題
8P	町民スポーツ大会	20P	最後の運動会
9P	100歳のお祝い	21P	すくすく育て

山岩を跳び、川岸を跳ねる ～自転車トライアルin 猿ヶ城～



1m以上の高低差の岩場で自転車で乗り越え、飛び降りる。写真は最上位クラスである「スーパークラス」で優勝した橋本翔太さん。



9月18日、猿ヶ城キャンプ場で、Qbnet（九州自転車トライアルネットワーク）自転車トライアル九州選手権熊本大会が開催され、九州、山口の選手43名がこの日のために造られた特設コースでその技を競いました。

バイクトライアルとは、岩場などに設けられたセクションと呼ばれるコースを、2分以内に、いかに足を地面につけずに自転車で走りきるかを競う競技です。「ビギナー」や「スーパー」など5つのクラスに分かれており、コースはクラス毎に違います。足などついたら1点減点、5点減点されたらそのセクションは終了、減点数の少ない選手が勝利となります。

昨年に続いて2回目の開催となったこの大会。当初、5つのセクションを予定していましたが、大雨による河川の増水でひとつが使用できず、残る4つのセクションで行われました。

どのコースを取るかで、そのセクションをクリアできるかが決まります。参加者は、入念なコース下見を行い、前日の雨でぬかるんだコースに臨んでいました。

競技を終えた選手は、猿ヶ城キャンプ場特製の石窯ピザや鮎の瀬交流館のおにぎり、丸重ミートのチキンでお腹を満たしていました。



「スーパークラス」2位の森海盛さん。このコース評は「難しいけど、やり方によってクリアできるので、とても良いコース」



「体験」クラスには3歳児も果敢にチャレンジ。何度倒れても泣かずに起き上がる元気な子どもたち。いい顔しています。

今大会の運営にあたった。自らも30歳過ぎて自転車トライアルを始めたが、今はもっぱら裏方で大会を支える立場だとか。ちなみに津留出身で矢部高校卒だそうです。



Qbnet 熊本支部代表
山本 隆史さん

平成22年度交通安全標語 コンクール入選作品

山都地区交通安全協会が募集した、交通安全の標語コンクールの入選作品を毎月2作品ずつご紹介していきます。(学校名・学年は当時)

ドライバー あなたの心の ネジしめて (蘇陽高3年 堀 幸平)
引き締めろ シートベルトとその気持ち (矢部高3年 飯星 涼樹)